

平成30年5月27日

一般社団法人 国連 P.R.I.D.E.日本
理事長 奥田正明様

一般社団法人 国連 P.R.I.D.E 日本
顧問 安田正治

支援活動結果について（報告）

みだしのことについて、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日時
平成30年5月27日（日）9時00分から12時00分
- 2 場所
大阪府門真市大橋町先 古川堤外地および堤内地
- 3 行事名称
古川クリーンアップミーティング
- 4 行事内容
地域住民による治水を目的とした清掃、整備活動
・第5回古川クリーンアップミーティング結果報告書（河川レンジー報告）＜別添＞
- 6 関係団体
主催：（一社）消防潜水連盟おかん防災実行委員会
共催：株式会社 HASSM
協力：国交省淀川管内河川レンジャー
大阪府寝屋川水系改修公営所
支援：（一社）国連 P.R.I.D.E.日本
- 7 支援内容
人的支援：2名（顧問：安田正治、木下佳郁）

以上

1.1 レンジャー活動

・平成30年4月29日(日)

実施状況

活動名	古川クリーンアツプミーティン活動			
氏名	安田 宇江垂 (枚方出張所管内河川レンジャー)			
運営形態	協力(主催：一般社団法人消防潜水連盟おかん防災実行委員会)			
活動日時	平成30年5月27日(日) 9:30: ~ 12:00			
実施場所	淀川水系古川 			
参加対象	地域住民・団体(地域団体・学校・行政・企業など)常盤町自治会・大橋町自治会・大池町自治会・大和田小学校 PTA・(一社)消防潜水連盟			
参加人数 および 団体名	参加総数	13名		
	参加者	11名	大人8名、子ども3名	
	講師	名		
	スタッフ	1名	消防潜水連盟安田氏	
	連携 団体 関係者	市民 団体 等	当日	
			準備のみ	-
		行政 機関	当日	-
			準備のみ	-
	学校 関係	当日	-	
		準備のみ	-	
淀川河川事務所	-			
河川レンジャー事務局				

スケジュール	9:30	開始 (9:00 集合準備～ ・レンジャーにより当日の作業説明
	10:00	・水辺に降り護岸の草刈りおよび通路の清掃開始 (護岸に繁茂した草の刈り取り・ジャンボタニシの卵の除去及び、 浮遊ごみの収集作業) ・管理用通路の草刈りおよびゴミの回収。 ・ゴミ袋終了と同時に集合し子供たちによる COD 水質調査パックテ スト実施。
	11:30 12:00	・作業終了ごみの一層収集作業 終了 (後かたづけ)
配付資料		
関係機関からの 支援内容		河川レンジャー事務局より保険の加入。パックテスト道具支援。 寝屋川水系改修工営所よりゴミの回収
河川レン ジャーの 活動内容	準備	物品の手配・検品。地域に向けての広報活動
	当日	水面の浮遊ゴミの回収・護岸の草刈・外来種駆除
	事後	片づけ・道具の洗浄・ゴミの回収依頼連絡
参加者からの意見		・自宅にある古川の昔の画像を展示したい。 ・通行人が「今日もご苦労様」などの声をかけてくれる人が増えて嬉しい ・ゴミ回収時にタバコをポイ捨てしていた。 ・パックテスト後(子供)掃除してるから綺麗になってきてるのかな?? ・パックテストで他の川との比較が見てみたい。

1.2 活動状況



・管理用通路の草刈り及びゴミの回収作業



・地元の方による古川の歴史についてのお話



水辺に降りての外来種調査およびゴミの回収



・子供たちによる COD 水質調査パックテスト

1.3 活動結果の確認

(1) 達成状況

確認項目		達成状況※1	
1) 年間活動計画に示した目標や活動内容に沿った取り組みができましたか？		普通	
2) 年間活動計画に示した“課題に対する改善点”を踏まえた取り組みができましたか？		普通	
できなかつた理由※2			
年間活動計画で想定していた STEP※3	2	実際に到達した STEP※3	2

※1：達成状況は、以下の指標により、「できた」「普通」「できなかつた」の何れかを記入してください。

～達成状況の指標～

【できた】 → 7割以上できた 【普通】 → 4～6割程度できた

【できなかつた】 → 3割以下しかできなかつた

※2：達成状況で「できなかつた」を選んだ場合は、できなかつた理由を記入してください。

※3：STEPは、「1」「2」「3」のいずれかを記入してください。

(2) 貢献分野

貢献分野※1	A: 治水・防災	B: 環境保全	C: 河川利用	D: 維持管理	E: 歴史・文化	F: 川づくり・人づくり
		●				○
波及貢献の状況※2	<p>地元での活動で参加者も地元の方々ということもあり、声をかけてい通行人も増え、参加者のモチベーションも上がってきている。</p> <p>パックテストによる水質調査を実施することで子供たちも次回からの楽しみもでき、大人も反応を楽しんでいた。</p>					

※1：活動の主たる貢献分野に●、波及効果があったと思う分野に○を記入してください(複数回答可)

※2：主たる貢献分野以外に波及効果をもたらした状況を記入してください。

(3) 取り組み内容

確認項目		チェック※1
活動の充実度	① 活動内容について、これまでの課題を“改善”するような工夫はありましたか？	○
	② 活動内容を更に“充実・発展”させるような工夫はありましたか？	○
	③ 活動内容に関して、参加者の声を聞くような取り組みや工夫はありましたか？	
	④ 活動の広報において口コミ以外で参加者数を増加させるような工夫はありましたか？	
	⑤ 継続活動においてメンバー構成（レンジャーの参加者や連携団体）は多様化しましたか？	

活動の 定着度	⑥ 活動は地域の要望（ニーズ）を受け継続していますか？	○
	⑦ 活動において地域の協力は得られていますか？	○
	⑧ 活動は広く周知され、誰もが公平に参加しやすいものとなっていますか？	
	⑨ 継続活動において活動回数や参加者数は増える傾向ですか	
地域への 貢献度	⑩ 地域住民の川への興味を向上させ、川の利用、川とのふれあいを促進しましたか？	○
	⑪ 地域や連携を図った相手の“川に対する考え”や“活動”に変化はありましたか？	
	⑫ 河川を愛護する団体などを創出しましたか？	
河川事業への 貢献度	⑬ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“住民意見の聴取”（すでにある計画や施設に対する意見の聴取・収集）に貢献しましたか？	●
	⑭ 河川整備や水辺整備、河川管理に関する“ニーズの抽出”（河川管理者が把握できていないニーズの抽出）に貢献しましたか？	
	⑮ 河川整備や水辺整備、河川管理への住民の関わり（事業等のプロセス（ワークショップなど）への参加・協力）を促進しましたか？	
アピール ポイント※2	<p>網場の対応が遅れているが住民どうし、潮位のある古川に対してどのように設置したら有効か話し合う等、流域の住民の関心も高まっている。</p> <p>アドトリバーへの理解も深まりつつあり7月ごろより申請の手続きを進める予定。</p>	

※1：該当する項目のチェック欄に○を、中でもアピールポイント欄に記載した内容に最も関係の深いものに●を記入してください

※2：チェック欄で●を記入した項目に関して、特に良かったと思う工夫や取り組みの内容、状況などを記入してください。

活動報告書の作成にあたっての留意事項

1.1 実施状況

運営形態

- ① 実行委員会に参加して取り組んだ活動や、主催ではないが運営段階から連携を図ってきた活動などは“共催”を選んでください。
- ② 実施日当日のみの協力やイベントへの出展等のみの場合などは“協力”を選んでください。
- ③ 小学校の出前授業やジュニア河川レンジャー活動など、河川レンジャーが主体となって小学校等と連携する活動については“主催”を選んでください。(小学校等は連携団体として、下記の“連携団体関係者”で抽出してください。

参加人数および団体名

- ① 参加者の記入欄において、ワークショップなどで連携団体から参加があった場合は、参加者として人数にカウントしてください。
- ② 市民団体等の記入欄は、各種住民活動団体、実行委員会、NPO、自治会、社会福祉協議会、漁協などの名称と連携人数を記入してください。
- ③ 行政機関の記入欄は、府県、市区、消防署、市立博物館、区立生涯学習センター、独立行政法人などの名称と連携人数を記入してください。
- ④ 学校関係の記入欄は、小中学校、高校、大学、PTA、大学に属するゼミ・サークルなどの名称と連携人数を記入してください。
- ⑤ 小中学校との連携活動は、教職員やPTA、スタッフの人数を連携団体関係者の学校関係の欄で計上し、児童・生徒は参加者の欄で計上してください。
- ⑥ 連携団体関係者の準備のみの欄は、準備段階等に連携を図ったが、当日は参加できなかった団体がある場合は、この欄に人数と団体名を記入してください。

1.3 活動結果の確認

- ① 貢献分野の事例は、表1のとおりです。参考にして選択して下さい。
- ② 波及貢献の効果や状況は、「外来種対策によって河川環境が良くなり、川と人との繋がりが強まり、河川美化活動なども立ち上がったことで、結果的に河川の維持管理に貢献した」「歴史・文化を学ぶ活動の中で過去の水害の歴史などを説明することで、防災に関する啓発に寄与し、結果的に住民等の防災意識が高まった」といったような、間接的な波及貢献分野について抽出して選択・記入してください。

表1 貢献分野の事例

貢献分野	事例
A：治水・防災	河川管理施設の学習会、水害・水防工法の体験学習、マイ防災マップづくり、避難活動
B：環境保全	自然観察、外来種の除去、生物調査、水質調査
C：河川利用	河川利用者への安全指導、不法投棄・不法工作の把握、節水意識の啓発、Eボート体験
D：維持管理	清掃活動、水辺の安全利用点検、河川管理施設等の異常箇所

	把握
E：歴史・文化	河川に係わる史跡の探訪、歴史・文化講座
F：川づくり・人づくり	河川公園ワークショップ、意見交換会 ジュニア河川レンジャーの養成、河川愛護団体の創出